

第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会
第 12 回広報・県民運動専門委員会 議事録（概要）

1 日時

平成 31 年(2019 年) 1 月 10 日（木） 14:00～15:30

2 場所

滋賀県大津合同庁舎 7-C 会議室

3 出欠状況

委員 27 名中 25 名出席

出席：井口 貢委員長、天川 隆男副委員長、東 登志也委員、板倉 成子委員、井尻 正志委員、市岡 新也委員、糸井 孝実委員、大田 祥登委員、上村 照代委員、北脇 康久委員、坂田 しのぶ委員、嶋津 栄之委員、清水 純一郎委員、寺田 佳司委員、殿村 美樹委員、中村 俊英委員、中村 康春委員、野村 智洋委員、廣瀬 香織委員、藤原 久美子委員（代理：高木様）、藤本 正勝委員、堀土 昌哉委員、村松 泰委員、八木 兵次郎委員、吉成 永部委員

欠席：北川 肇委員、松田 規久子委員

4 配付資料

別添のとおり

5 会議概要

説明・報告事項（1）～（3）

※事務局から「（1）第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 愛称・スローガンの応募状況、（2）モザイクアートポスターに係る写真の応募状況、（3）マスコットキャラクター競技別公式デザイン」について一括説明。

【質疑応答なし】

審議事項（1）

※事務局から「第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 県民運動基本計画（原案）」について説明。

【意見】

<委員>

子どもたちが開催年には、高校生や大学生の年代となっている。大会が終了したら終わりではなく、様々なものがレガシーとして残るようにしてほしいと考えている。そのような文言が前文に反映されており良いと思う。

<委員>

原案にイメージソングやイメージダンスという文言があるが、どのようなスケジュール感で決定していくのか。

<事務局>

イメージソング・ダンスについては、来年度に選定部会を設置することを予定しており、イメージソング・ダンスの決定はともに大会開催の4年前を予定している。

<委員>

イメージソングやダンスについては、それらを選定すること自体が広報につながる。他県においては、作られたソングが現在においても広く県民に浸透している例もある。是非本県もそのようなになってほしいと思う。

<委員>

「三方よし」は非常に良い言葉だと思う。滋賀県らしさが出ており、前文に組み込まれているのは良い。

<委員>

レガシーという言葉は、年代によってはわかりにくいと感じることもあると思う。

<事務局>

レガシーという言葉については、オリンピック・パラリンピックや本県の「開催基本構想」でも使用しているが、例えば注釈を入れるなど分かりやすい表現を検討していきたい。

<委員>

例えば、「滋賀県で語り継がれる」のような文言を入れてはどうか。

今回の意見を踏まえ、次回の専門委員会において、県民運動基本計画（案）を審議する旨、各委員了承。

審議事項（2）

※事務局から「第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 愛称・スローガン最終候補作品選定」について説明。

※第79回国民体育大会・第24回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会「広報・県民運動専門委員会」会議公開要領第2条第2項第1号および第2号により、非公開で審議。

※委員の協議により、愛称・スローガンの最終候補作品それぞれ5作品を選定。

以上